



独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 仙台病院

院長 田熊 淑男

1. 病院紹介

当院は宮城県仙台市に所在する病床数 428 床の総合病院です。病床の内訳は、腎臓内科が 167 床、泌尿器科が 48 床、腎移植・血管手術を行う外科が 63 床を占め、東北地区の腎疾患治療の基幹病院として広域性のある役割を担っています。

本年 4 月より仙台社会保険病院から上記病院名(略称 JCHO 仙台病院)に名称が変更されました。また、2017 年春には仙台市北部に病院移転を予定していますが、腎臓透析医療においては今まで同様に地域に先進的医療を提供することを任じております。

2. 腎臓疾患臨床研究センター紹介

当科は腎臓内科の診療にあたっています。スタッフは常勤医 14 名、後期研修医 8 名の合計 22 名、167 病床は常時 150 人程度が入院しており、平均在院日数は 15 日前後です。

腎臓疾患の専門病院として、“慢性腎不全にいたらぬよう初期治療(慢性腎炎の根治治療)を行うと共に、血液透析、腎移植までの一貫した医療”を心掛けています。年間の腎生検数は 380~450 件。透析ベッド数は 64 床で、透析導入患者数は約 300 人/年、その多くが血液透析を行っていますが、腹膜透析の診療も行っています。

3. 腎臓リハの重要性

従来、腎疾患患者では運動負荷が腎機能障害進展へ影響を及ぼすことが懸念され、運動制限ないしは安静が必要とされてきました。しかし近年、患者の QOL 向上、身体機能の維持・活性化という観点から、日常活動量の正確な把握・見直しや運動療法への関心が高まりつつあります。また、透析患者の身体



活動量の低下は生



独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 仙台病院

〒981-8501 宮城県仙台市青葉区堤町 3-16-1
URL: <http://www.sendai-shaho.com/>

命予後の悪化と関連していることも示されており、疾患管理の一環として腎臓リハが定着することが望まれます。

保存期腎疾患に関しては、日本腎臓学会のガイドラインにより日常生活・運動に対する指針が作成されています。しかし、透析期の生活指導区分はまだまだ存在せず、より有意義な透析生活が送れるための指針作成が待たれるところです。

4. 透析患者の運動療法

当科では、東北大学医学部内部障害学講座の指導のもと、2004 年から透析患者の運動療法に取り組んでいます。血液透析患者にはエルゴメーター等を使用しての透析中の運動療法、腹膜透析患者に対しては日々のウォーキングによる運動療法を奨めています。運動療法を継続することにより、筋肉量増加・貧血・脂質代謝改善など様々な効果が得られています。

腎臓リハビリテーション学会においても、全国多数の透析施設から運動療法の効果が報告されるようになりました。運動療法が透析患者管理の一環として定着できるよう努めていきたいと考えております。

